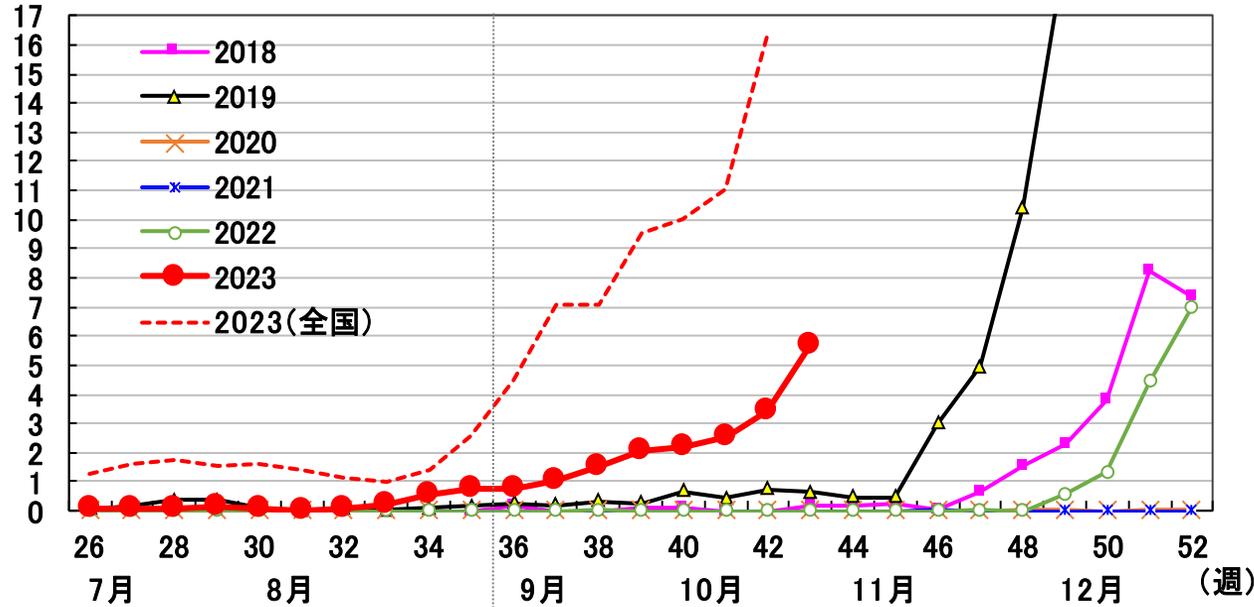


# インフルエンザの発生状況(富山県)

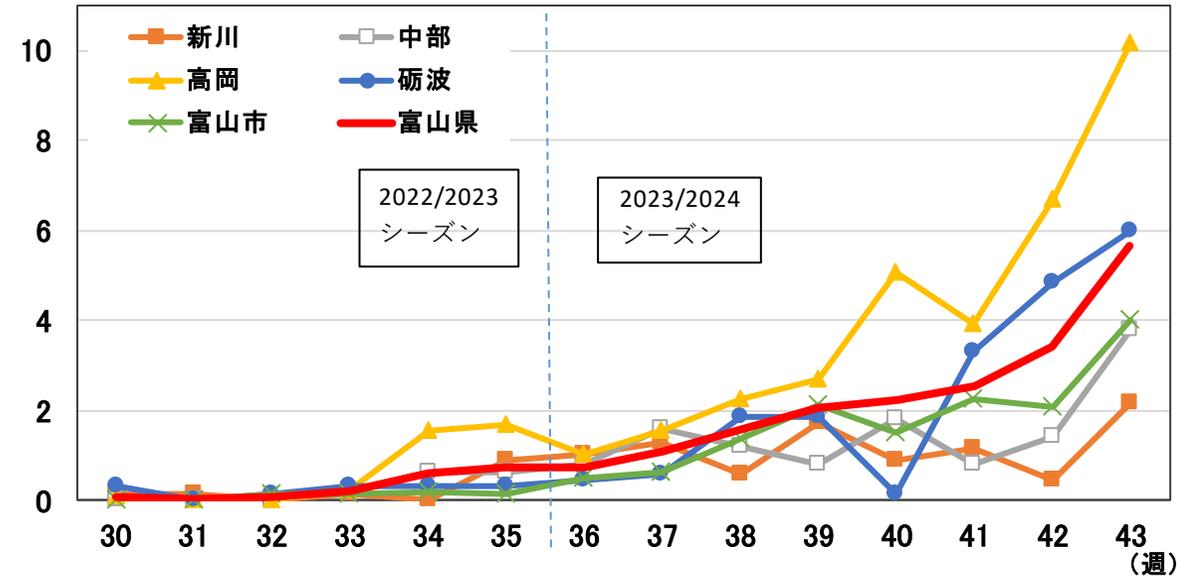
【第43週(2023/10/23~10/29) 感染症発生動向調査速報値 (2023/11/1時点)】

(人/定点)

図1. 患者報告数の推移(富山県)



(人/定点) 図2. 厚生センター・保健所別患者報告数(2023/2024)



- 富山県の患者報告数は今週(第43週) 5.67人/定点となり、第36週から第42週までと比べ、増加の割合が大きくなった。
- 厚生センター・保健所別に見ると(図2)、すべての管内で前週より増加した。特に高岡管内では10.15人/定点となり、注意報レベルの目安である10人/定点を超えた。

図3. 年代別割合(富山県、第43週)

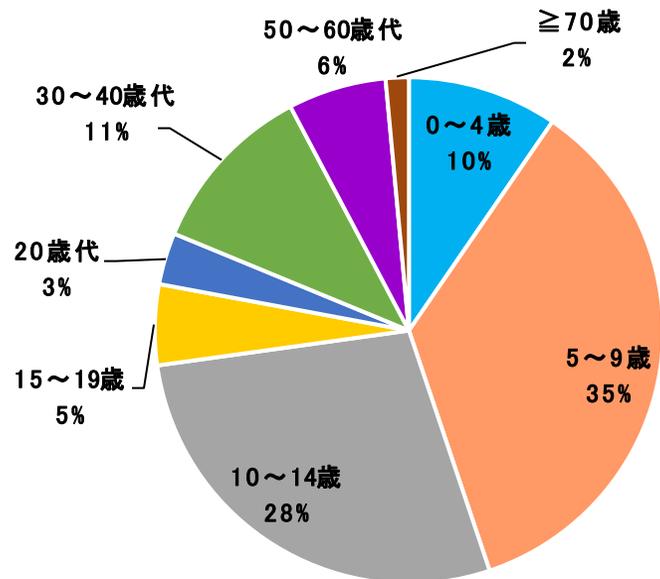
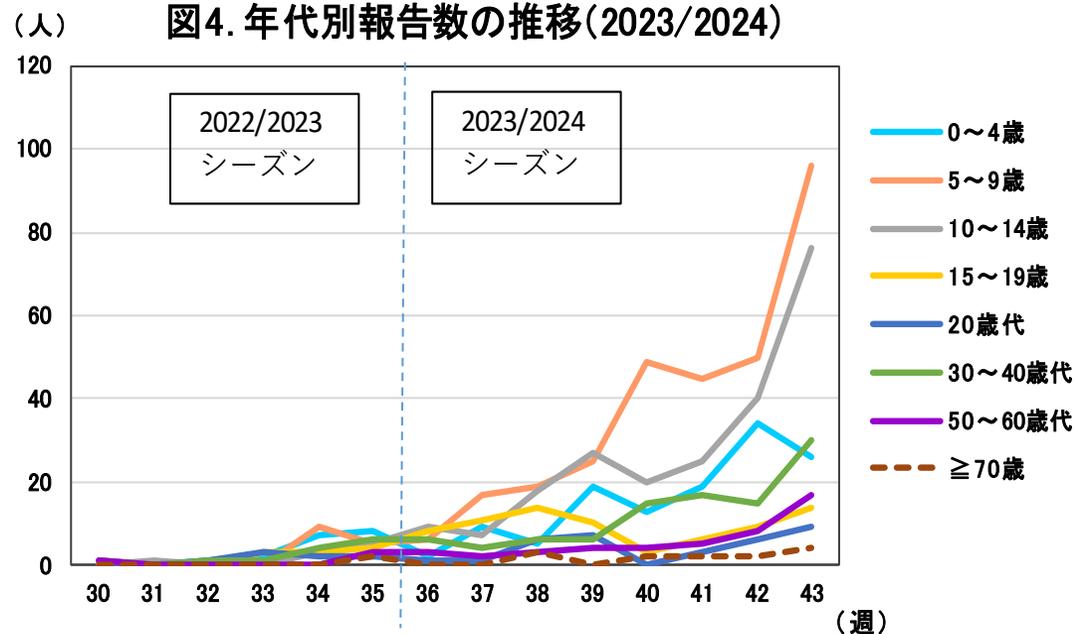


図4. 年代別報告数の推移(2023/2024)



- 富山県の第43週の年代別割合（図3）では、15歳未満の小児が73%を占め、中でも5~9歳が全体の35%、10~14歳が28%を占めた。
- 年代別報告数の推移（図4）では、5~9歳、10~14歳の年代で今週報告数が大きく増加した。一方、0~4歳はやや減少した。
- インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等は第43週に幼稚園1施設、小学校9施設、中学校5施設で報告があった。

図5. 都道府県別インフルエンザ報告状況(第42週)

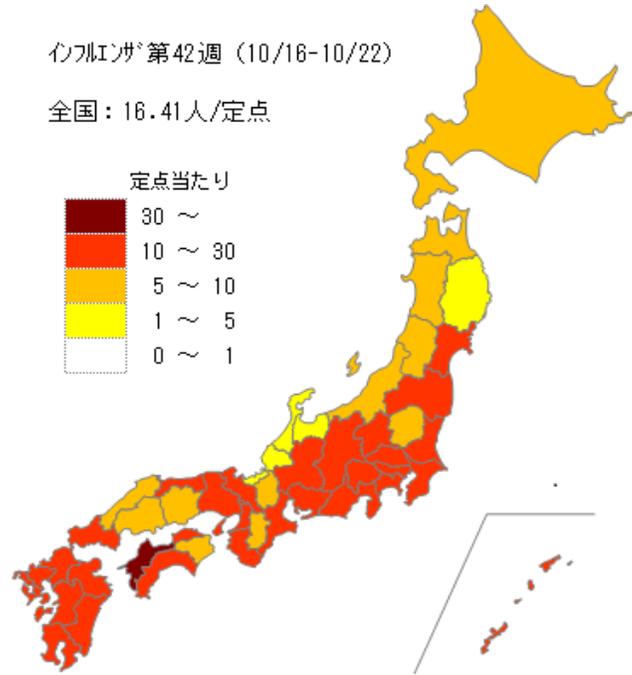
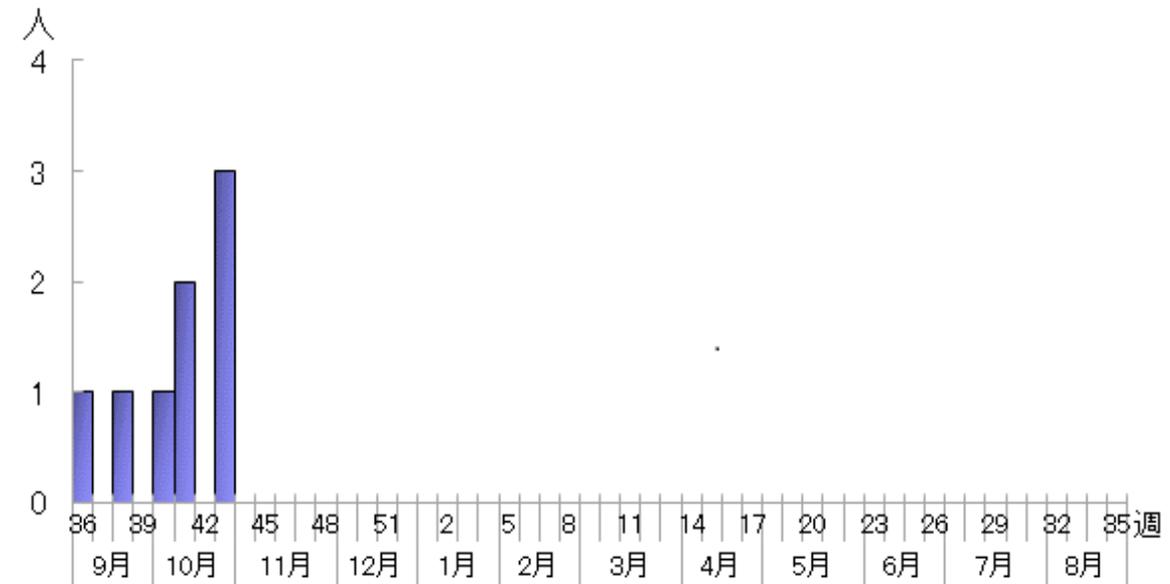


図6. インフルエンザ入院患者報告数(第43週)



- 全国では第42週に16.41人/定点となり、第41週（11.07）から増加が継続した。都道府県別（図5）では31都府県で注意報レベルの目安である10人/定点を超えている。
- 県内5か所の基幹定点医療機関を対象に実施するインフルエンザ入院サーベイランス（図6）では、第43週に3例の報告（幼児、50歳代、70歳代各1例ずつ）があった。
- 今シーズンは、例年より早期にインフルエンザの流行が認められた。患者数の増加傾向が続いており、今後の発生動向を注視する必要がある。